

令和5年 9月26日

第3学年保護者様

加古川市立神吉中学校
校長 高橋 禎雄

全国学力・学習状況調査の結果について

初秋の候、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、今年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が返送されてまいりました。本日、お子様の調査結果（個人票）を返却しましたのでお知らせします。

なお、調査結果（個人票）に示されているのは、学力の特定の一部分ではありますが、これまでの学習等の成果や取組状況について、お子様とともに改めて確認する機会にさせていただければと思います。

また学校におきましても、下記の本調査結果を十分に検討し、子どもたちの学力をさらに伸ばしていくための今後の手だてとして活用してまいりたいと考えております。

記

1 学力

《国語》

平均正答率が兵庫県及び全国平均を少し上回っています。国語の学力の話すこと・聞くことには比較的強く書くこと・読むことに弱い傾向が表れています。また「事象や行為、心情を表す語句について」や「歴史的仮名遣いについて」には高い正答率を表し、「文脈に即して漢字を正しく書くことについて」や「文章の構成や展開、表現の効果について」理解することは特に苦手な傾向が見られ、今後の授業の中で重点的に取り扱う必要性を感じました。

《数学》

平均正答率が兵庫県及び全国平均を上回っています。特に「数と式」に関する技能や知識を問われる問題には強い傾向があります。その反面、「図形」に関する平均正答率が4分野で最も低く、「データの活用」「関数」に関する問題にも苦手意識があるものと考えられます。全国的にも同じ傾向が見られますが、今後の課題として、授業において基礎基本の定着を図るとともに、重点的に強化する必要性を感じました。

《英語》

平均正答率が兵庫県及び全国平均とほぼ同じです。「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能の内、「聞く」ことが得意で「書く」ことが苦手な生徒が多いことが全国的にも見られます。特に日常的な話題について必要な情報を聞きとることに関する理解力が高く、事実や自分の考えをまとめて正しく書くことに関しての正答率が非常に低いです。また必要な情報を読み取ることが苦手な生徒が多い傾向が見られます。

今後も引き続き、課題克服のために、基礎基本の定着と、それらを活用して問題を解決する力の向上を、普段の授業の中で積み上げていきます。

2 生徒質問紙より

生徒は学校に行き友達に会うことを楽しいと思っており、学習にも一生懸命に取り組んでいます。また規範意識や思いやりの心や協調性を高く持っている生徒が多いと言えます。しかし、家庭で計画的に学習する生徒がおよそ半数以下と少なく、また土日も含め日々の家庭学習の時間の確保が課題であると思います。自主的に学習に取り組む姿勢を大切にすることが将来の夢や目標を持つことに繋がると信じています。

また学習の中でICT機器の活用が必要だと多くの人が感じながらも、学校・家庭でそのことが思うように進んでいないことが課題とされます。